

例会報告：2014年8月26日（曇り）第1856回 通常例会

会場：小田原卸センター内会議室
日時：2014年8月26日 12：30～13：30

◆ 会長挨拶



齋藤 永 会長

皆さんこんにちは、残暑きびしいつまでも暑い日が続きますが、いかがお過ごしですか。

関東地方はいまだに暑いですが、広島では大変な事になっております。本当に自然災害の怖さを目の当たりにすると自分の住んでいる所は大丈夫なのか再確認してしまいませんか。

犠牲になられた方のご冥福多いのりいたします。

さて、話は変わり今日のお話ですが、「動き出さないと始まらない」ということをお話いたします。

《生きるとは呼吸する事ではない。行動することだ》ということです。これはフランスの哲学者ジャン＝ジャック・ルソーの言葉です。こんな話を知っていますか。

「飛行機やロケットはその離着陸に多くの燃料を使う。でも、一度飛び立ってしまえば残りの燃料でミッションを成功させることが可能だ」これは、人がなにかを始めること、行動に移すことがいかに大変なエネルギーを使う事かを端的に表したたとえ話です。確かに、私たちが

普段の安穩とした生活を変えて、会社を立ち上げたり、転職したり、夢に向かって勉強を始めたりなど、いざ新しく行動を起こすときに使うエネルギーやプレッシャーは、相当なものです。でも、よく考えてみてください。

飛行機にしても宇宙ロケットにしても、一度離陸して巡航状態になれば燃料をあまり消費しません。ときどき誰かに操縦を代わってもらうことも可能です。私たちも同じだと思いませんか。一度行動を起して流れに乗ってしまえば、比較的その後はスムーズに前に進めるのではないのでしょうか。哲学者ジャン＝ジャック・ルソーの言葉は、「安穩と安全地帯にじっとしているだけでは生きて

いる価値はない！勇気を振り絞って行動を起すことが大切なのだ」と私たちを叱咤激励してくれているのです。なにも大きなことを始める必要はなく、「冬のぬくぬくと暖かい布団の中からはいであること」などという小さな一歩からでもいいと思います。もう一度いいます。

《生きることは呼吸することではない。行動することだ。》今日もよろしくお願ひいたします。

◆ 幹事報告



大川 久弥 幹事

1)今年度の青少年交換学生の受け入れがロシアからアレクセイ君という高校生ですが、受け入れ先の高校が小田原総合ビジネス高校に決まりました。

2)9月9日の例会は当初の予定では、澤田ガバナー補佐訪問によるクラブ協議会となっておりますが、ガバナー補

佐は9月2日に訪問され、例会の中でご挨拶をしていただくことになりましたので、9日は通常例会となります。

3) また、9月16日のガバナー公式訪問の例会は1時間延長となりますので、宜しくお願ひ致します。

4) ガバナー公式訪問では後半の懇談会では、質疑応答方式で行いますので、ボックスにガバナーへの質問書をお入れしました。次週9月2日までにご提出をお願ひ致します。

5) 須藤会員より新会員推薦書が提出されました。持ち回り理事会で承認されました。皆様のもとには新会員決定のお知らせが本日発送されますので、宜しくお願ひ致します。

6) 来月9月のロータリーレートは今月と同じ1ドル102円です。

◆ 委員会報告

青少年奉仕委員会・荻野委員

8/31（日）に小田原いこいの森でローターアクトがバーベキューを行います。小田原駅西口から送迎をいたしますので、出席できる方はお申し出ください。

◆ 出席報告

小川 和夫 委員長

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
8月26日	48(45)	36	0	80.00%
8月19日	48(45)	37	2	86.67%
8月5日	48(44)	34	2	77.27%

【欠席者】 9名
内山 修一、久保田 知子、木村 頼弘、須藤 公、上田 博和、石内 正彦、一寸木 信雄、志澤 昌彦、木村 啓滋

【今回MU】 0名
【前回MU】 1名増加
木村 頼弘 (8/23 地区補助金)
【前々回MU】 増加なし

◆ 卓話（クラブフォーラム）

「ロータリーの奉仕について」



研修委員会・石崎 委員長

皆さん『奉仕』というものをどう捉えていますか？奉仕は英語だと『SERVICE』になります。サービスに必要なものは何でしょう？東京オリンピック招致にもあった『おもてなし』、つまり『心』ではないかと思

います。ロータリーでは、ロータリアン、ロータリークラブという言葉と、国際ロータリー、ロータリーという言葉があり、これは全てニュアンスが違います。ロータリアンは私たち会員・メンバー1人1人個人のこと。ロータリークラブはロータリアンの集まり、組織です。国際ロータリーは世界中のロータリークラブの集まりで世界規模の奉仕活動をしています。そしてロータリーというのは一つの哲学、ロータリアンのバイブルではないでしょうか。我々ロータリアンはロータリーというバイブルに則って行動しロータリークラブ・国際ロータリーを動かしていく、と受け取っています。

ロータリークラブが創立された1905年の時代背景は荒れていました。奉仕の概念などはあまり無く、仲間作りや利害関係を有利に進めるための主力だったようです。ロータリーがしっかり確立されたのは1920年代です。有名なロータリーの標語「超私の奉仕」「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」が生まれました。それらがベースとなってロータリーの奉仕が形作られ、これからはずっとその思想哲学は継続していくと思います。ロータリーは今も百年前も変わっていませんが、国際ロータリーは改革を重ね変化しています。これからの方向は「クラブのサポートと強化」「人道的奉仕の重点化と増加」「公共イメージと認知度の向上」の3つの戦略計画重点事項に表れています。そして中核的価値観としては、奉仕・親睦・高潔性・多様性・リーダーシップの5つがあります。この5つを使って重点項目の活動をしていくわけです。ロータリーの奉仕はロータリーの目的になりました。1番の目的はクラブ奉仕、次が職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕と続きます。

最後にロータリーの奉仕という言葉に対する私の考えです。私は4つのテストがロータリーの奉仕の基本ではないかと思ひます。日常生活で4つのテストに見合った言行をしているか、ロータリアンの奉仕に合っていたか考えるべきです。常に意識して行動することが意識しての奉仕に当てはまるのではないのでしょうか。人の心と人の言行が大切なのです。

「会員増強の必要性について」

増強委員会・小嶋 委員



地区の増強委員会からのお願いと現状についてお話しします。今ロータリーの会員が減っているのは世界的なものです。日本では一番多い時に13万人いた会員が8万人を割りました。RI会長・田中さんを送り込んだ年でも、10万人の目標とは程遠い結果になってしまいました。田中さんは会

員増強に力を入れていたのですが、その年この地区の純増は38人でした。昨年度はクラブ自体が増えたせいもありますが、純増90人。下げ止まりになっているかと思ひます。世界でこの10年間会員が増え続けている国は、ドイツ、イタリア、スイスの3ヶ国だけ。決してこの3ヶ国の経済情勢が良いわけではありません。これらの国ではロータリーの基本がしっかり守られ、クラブが魅力を持って運営されているから。地域のために役立つ奉仕活動がなされ、知名度も高く、入会したい人たちが多い。そこに元気の良い理想のクラブ作りのヒントがあると思ひます。

今年度2780地区の渡辺ガバナーは「魅力あるクラブ」という言葉をよく口にされます。魅力あるクラブなら会員増強・退会防止が自然にできるはず。具体的には退会防止を強化したいとのこと。私も大賛成です。私が1996年に入会した時には76名の会員がいました。現在までに退会した人が70人います。亡くなった方を差し引いたその半分でも残ってくれたら80人近いクラブになっているわけです。2番目にEクラブの立ち上げ。Eクラブには反対が多いのですが、どうしてもこの地区に作りたそうです。3番目には女性会員の拡大で、女性会員の割合を10%にしたい。それから40歳代の会員の拡大。どこのクラブでも60、70歳代の会員が一番多いので、若い世代に入会してほしいです。5番目は『サクセス・ジャパン大作戦』のお願ひです。

地区全体で1割の純増が目標です。7/1現在2307名の会員ですので230人の増強です。内訳はEクラブが25名、女性会員が74名、男性会員が131名。そして30歳代を65名、40歳代を70名という計画をたてています。今年度の地区会員増強委員長はガバナーの公式訪問に全て同行する予定です。3年後5年後のあるべき姿を全員としっかり話し合い、真剣に考え意見を集約したい、現状に安住することなくより良いロータリーを作りたいと頑張っています。

6/18の会員増強セミナーには多数出席していただき、関心の高さが示されました。特に印象に残ったのは「会員増強はロータリーの魅力ではなく個々の会員の魅力が大事」「会員1人1人の心の向上、魅力ある人間になることが一番の増強へ」の言葉です。現在54名の増強ができています。当クラブもガバナー訪問の時に入会式ができるよう、よろしくお願ひいたします。